

第1回 ライトノベル作法研究所主催 大夏祭り大会 選評評価シート

作品名:「長いらせん階段」

テーマ:「月の輪熊の主婦なのに、実は栗色の髪をした陽気な美少女」

キャラクター

40

ストーリー

30

テーマ(設定)

35

文章力

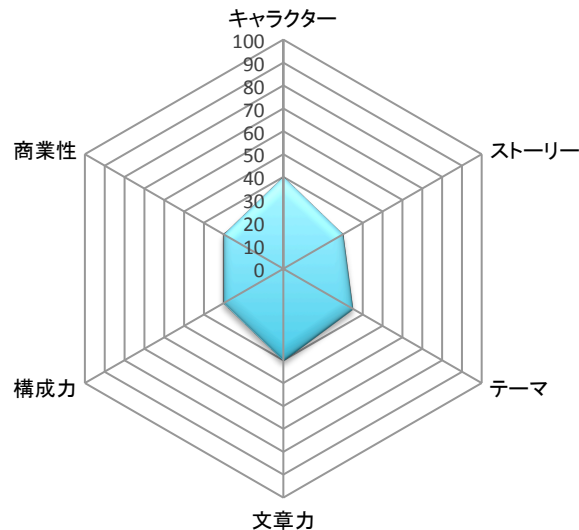
40

構成力

30

商業性

30



・見受けられる基礎的な問題点

- キャラクターに個性がない(もしくはその個性を生かしきれていない)
- キャラクターの設定にオリジナリティがなく、読んでいて新鮮さに欠ける
- キャラクターの行動に動機がなく、物語が都合展開になってしまっている
- 物語の方向性が定まっておらず、読む側にだるさを感じさせてしまっている
- 物語に登場人物達にとっての障害が登場せず、盛り上がり欠ける
- テーマ(世界観)が既存の作品の焼き回しで差別化されていない
- 物語上必要のない設定を多く登場させ過ぎている
- 意味の無い暗いテーマ(人の死、暴力等)が扱われており、後味が悪い
- プロットの練り方が甘い(基本的な起承転結が意識されていない)
- 時系列の流れが不自然、もしくは視点移動が多過ぎて構成が理解しにくい
- 物語の情景描写が足りず、読んでいて状況を想像できない
- 文章が難解かもしくは文法的に問題があり、よく読まないと内容が理解できない
- 伏線的な要素がなさすぎて驚きに欠ける
- 笑いをとれる下ネタが少なく、読んでいて冷める下ネタが多い
- 「この作品の最大の魅力はこれ!」というものがない

・総評 (もしくは、今後これをやったら更に面白い作品を書けるようになるかもという話)

・(個人的にこのようなんだかよく分からないが強いメッセージ性をもっている作品は好きだが……)ストーリー性や世界観の説明がなさ過ぎて評価できない。強いて言うならライオンの中から女の子が登場というその謎めいたギャップはよかったが、それ意外に関しては意味不明さが過ぎた。
 ・このような作風で作品を書きたいのであれば、読み手が「もしかしてこの話って●●の例えなんじゃ?」と、読み手が勝手に物語に意味付けをし始めるような誘導を仕掛けられると良い。
 ・例えばこのらせん階段を人の遺伝子の例え(DNAは螺旋構造なので)にするとして、これも例えば「父母から受け継いだ遺伝子について」を暗喩する物語にするのであれば、作中に「螺旋階段」「遺伝」という2ワードを混ぜておくだけで読者は「あれ?もしかして?」と勝手に想像を膨らませる。とにかく、このように何か読み手に「あ、これってもしかして?」と思わせるようなキーワードを混ぜるだけで全然変わってくるので、てっとり早く面白くしたいのであれば実践すべき。
 ・文章単体では、面白い表現などもあり楽しく読めたため、あとはこの文章を活かせるようなストーリー・構成を作ることから始めるべきであると考えられる。

合計加点ポイント 0

総得点: 205 / 600

B方式総合得点: 7004 点